

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和5年2月18日

公表: 令和5年3月25日

事業所名 放課後等デイサービス にじいるLOHASPO

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7	1	パーテーションを活用しています。	物の配置に気を付け、より広く使えるように、また、安全面の配慮がより充実した環境設置を行います。
	2	職員の配置数は適切である	8	0	配置が適切であるように週休日の調整を行っています。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	5	3	トイレ等の施設移動では常に職員と共に移動をしています。	室内に段差は無いものの、事業所が建物の2階にあるので、階段で転倒することがないように落ち着いて行動ができるように声掛けを行っています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6	2	①計画②実行③検証④再度の実施の手順で業務に取り組んでいます。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	8	0	保護者の皆さまにアンケートのご協力を頂き、内容を把握し、業務改善につなげています。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8	0	ホームページにて適切に公開しています。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	7	1	事業部管理職による訪問指導を受け業務改善につなげています。	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8	0	法人主催の定期研修を受講しています。	
適切な支援の提	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	8	0	法令及び通達に基づき適切に実施しています。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	8	0	ISSPや社会生活能力チェック表を利用しています。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	8	0	運動療育のメニューを個別支援計画に基づいてチームで作成しています。	外部有識者による指導・助言により適切な運動療育を構築することを目指しています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8	0	年間支援計画により、月度の活動に創意工夫がなされるよう工夫しています。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	7	1	ホワイトボードに課題やスケジュールを書き出して、利用者が自己の課題や活動について見通しを持ちやすいようにしています。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	8	0	運動メニューは利用者の状況に応じて変更しながら実施しています。	

供	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8	0	朝礼にて確認しています。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	8	0	翌日の朝礼で行っています。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7	1	改善すべきことが発生した際は朝礼等にて話し合いを行って支援の見直しを図っています。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	8	0	利用者一人ひとりの様子をモニタリング表に記入し、放課後等デイサービス計画見直しの必要性を判断しています。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	8	0	イベントや日々の活動で創作活動や余暇の提供を行っています。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7	1	日々の利用者の活動を支援員に聞き取りをし児童発達支援管理責任者が出席しています。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	8	0	電話による交信の実施、送迎時に可能な範囲で情報支援を行っています。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	4	3	アセスメント等で主治医と連絡交信をしています。	必要な場合は適宜保護者や医療機関との連携体制を整えてまいります。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	6	2	アセスメントや書面にて情報共有を行っています。	法人内で作成した「利用者引き継ぎ書」を活用しています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	6	2		
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	8	0	ZOOM等も活用し全員が研修を受講できる環境が整えられています。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	6	2	児童館や公園等で児童同士が交流する機会があります。	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	4	4		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8	0	送迎時や電話交信、サービス提供記録の配信にて利用者の方と共通理解を図るように努めています。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	6	2		

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8	0	契約時に適切に説明を行っています。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8	0	電話交信や送迎時に相談に応じ、朝礼等を通じて職員間で情報共有を図っています。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	7	1	年度2回以上開催できるように保護者の方と連絡調整を図っています。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	8	0	有事の際は所内で情報を展開して、迅速かつ適切に対応しています。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7	1	HUGや公式LINEを活用し、情報の配信を行っています。	
	35	個人情報に十分注意している	8	0		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8	0	朝礼にて係る情報について共有しています。	
非常時等の対応	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	7	1	フードパントリー事業を通じて、地域に開かれた活動を行っています。	
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6	2		有事の際のマニュアルの整備を再構築してまいります。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7	1	法廷訓令を適切に実施しています。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8	0	虐待防止委員会及び身体的拘束適正化検討委員会を設置して研修を受講しています。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6	1	放課後等デイサービス計画に記載することにより常に認識を一にして支援を行っています。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	8	0	おやつや食育のイベント時にアレルギーの対象児童の在否を確認しながら対応しています。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8	0	ヒヤリハット発生時は所定の用紙に記入し、情報共有を行っています。	